令和８年度

「高等学校教育改革に関するアンケート（中学校・義務教育学校）」

結　果　概　要

鳥取県教育委員会事務局高等学校課

1　目的

現在、本県では令和７年３月１５日に策定した「令和新時代の県立高等学校教育の在り方に関する基本計画＜前期＞（令和８年度～令和１２年度）」に基づき、様々な取組をとおして、高等学校の特色化・魅力化等に取り組んでいる。

今後、県立高等学校の在り方について検討するにあたり、これまでの高等学校教育の成果や課題を検証するとともに、今後の施策の参考とするため、中学校及び義務教育学校生徒等の意識調査を実施した。（令和４年度以降、５年連続）

2　調査対象校

全ての県内公立中学校及び義務教育学校

3　調査対象者

（1）中学校第３学年及び義務教育学校第９学年の生徒
（2）中学校第３学年及び義務教育学校第９学年の生徒の保護者
（3）中学校及び義務教育学校の教員（主幹教諭、教諭、養護教諭、常勤講師、養護助教諭）

4　実施方法

Web フォーム（Google フォーム）による回答

5　実施期間等

令和８年５月１２日（火）から令和８年７月３１日（金）まで

6　「生徒」アンケート調査結果概要（中学校第３学年及び義務教育学校第９学年）

（1）調査対象者数及び回答率等

調査年度	在籍者数※	回答数	回答率 (回答数／在籍者数)
令和８年度	4,593	3,470	75.5%
令和７年度	4,421	2,679	60.6%
令和６年度	4,575	2,962	64.7%

※　在籍者数は、各年５月１日現在。（学校便覧より）

（2）集計結果（全県の割合）

［1］　あなたは中学校または義務教育学校を卒業した後の進路を選ぶ時にどのようなことを大切にしますか。（２つ以内で回答）

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R6
1	イ：将来の夢や希望がかなえられるかどうか	51.4%	+2.8%	48.6%	49.2%
2	ア：自分が学びたいことを学べるかどうか	35.8%	+1.3%	34.5%	30.9%
3	ウ：大学等へ進学するための力がつくかどうか	23.5%	+0.1%	23.4%	24.6%
4	ク：入試で合格できそうな学校かどうか	23.1%	△1.9%	25.0%	26.0%
5	カ：やってみたい部活動があるかどうか	16.9%	△0.8%	17.7%	16.9%

自らの興味や関心に応じた学びができ、学んだことが希望する進路に結びつくことなど自己実現につながることを理由とする回答が上位３項目を占め、昨年度と比較して回答の割合も増加した。今後も、生徒の多様な進路志望のニーズに応えられるような学びや魅力づくりに取り組んでいく。

［2］　あなたは、どのような方法で中学校または義務教育学校を卒業した後の進路のことを調べますか。（２つ以内で回答）

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R6
1	ア：学級活動の時間などで行った進学先についての調べ学習などから	32.3%	+0.4%	31.9%	29.4%
2	ウ：高等学校体験入学及び授業参観などから	32.2%	+5.1%	27.1%	24.2%
3	キ：各学校のホームページの情報から	29.8%	+0.3%	29.5%	29.1%
4	イ：中学校進路指導資料「輝け！夢」から	27.4%	+0.2%	27.2%	30.0%
5	オ：保護者の情報から	23.0%	△3.2%	26.2%	24.8%

体験入学、授業参観の回答が増加し、ホームページからの情報収集も高い回答率を維持している。また、冊子として配布している「輝け！夢」もニーズが高い。体験的な機会の充実とともに、Webページや紙媒体での情報発信をうまく連携させながら、より一層の魅力発信をしていく必要がある。

［3］　進学先（高校、高専など）を卒業した後の進路として、今のあなたの気持ちに最も近いものはどれですか。（１つ回答）

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R6
1	ア：大学（４年制）への進学	38.2%	+0.4%	37.8%	39.5%
2	オ：わからない、考えていない	32.0%	+0.7%	31.3%	30.5%
3	ウ：専門学校、各種学校への進学	13.8%	△0.6%	14.4%	13.5%
4	エ：就職	12.6%	△0.4%	13.0%	12.4%
5	イ：短期大学への進学	3.2%	+0.1%	3.1%	3.9%

４年制大学への進学が最も高い回答率を維持している一方、「わからない、考えていない」という回答も高い。普通学科だけでなく、専門学科や総合学科を含めた各高校での学びが、将来の進路にどのようにつながるのか、という観点での情報発信、魅力発信を工夫、充実させる必要がある。また、高校入学後も自分の進路、キャリアについて考える機会を継続的に設定する必要がある。

［4］　**あなたは自分の進路希望を実現するために、進学先（高校、高専など）ではどのような学科で学んでみたいと思いますか。（２つ以内で回答）**

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R6
1	ア：普通学科 - 国語、英語、数学など普通教科を中心の学び	61.1%	+1.9%	59.2%	59.0%
2	シ：わからない、まだ決めていない	15.0%	△3.8%	18.8%	17.1%
3	ウ：工業学科 - ものづくりの知識や技術などの学び（総合工学科を含む）	12.1%	+1.1%	11.0%	10.9%
4	サ：総合学科 - 普通教科や職業教科の中から、興味・関心や進路に応じて選択する学び	11.3%	+1.0%	10.3%	11.6%
5	エ：商業学科 - 経済や経営、流通、簿記、情報処理などビジネスの知識・技術などの学び	7.8%	+0.3%	7.5%	7.1%

普通学科での学びが安定した高い回答率を継続しているが、工業や商業などの専門学科の志望も着実に増加している。今後、需要が高まるとされる高度専門人材の育成に結びつく専門学科の魅力的な学びや、柔軟な進路に対応できる総合学科の特色など、普通学科以外の学びの内容や魅力発信もより一層充実させていく必要がある。

［5］　**あなたは、進学先（高校、高専など）での学習についてどのようなことを期待しますか。（２つ以内で回答）**

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R6
1	ア：大学進学等や自分がつきたい職業に必要な知識や技術を身につけたり、資格などが取得できたりすること	68.8%	+3.8%	65.0%	66.6%
2	イ：自分の興味や関心のある分野の授業を選んで、自分の時間割が作れること	39.8%	△1.8%	41.6%	39.3%
3	ウ：少人数ではなく、たくさんの生徒で学べること	17.4%	△0.1%	17.5%	18.4%
4	オ：国や海外の関連機関、大学等と連携したり、協力を受けたりして学べること	8.7%	+0.6%	8.1%	8.5%
5	エ：たくさんの生徒とではなく、少人数で学べること	7.0%	+0.4%	6.6%	7.6%

大学進学や将来の職業につながる学びへの期待が最も高い回答率となっているが、興味、関心に応じた主体的な学習内容の選択や、少人数で学べる環境など、個の特性等に合せた学習への期待も一定の回答率を維持している。多様な学びのニーズに対応できる環境整備を進めていく必要がある。

［6］　**あなたは、県立高等学校で新たにつくられたり、充実が一層図られたりするとしたら、どのような学びや分野等に興味・関心がありますか。（３つ以内で回答）**

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R6
1	ア：大学進学等に向けた普通教科中心の学び	44.8%	+0.9%	43.9%	44.1%
2	シ：運動やスポーツなど体育分野に関する学び	26.1%	+1.1%	25.0%	23.3%
3	カ：AI やプログラミングなど、情報システムに関する学び	15.4%	△1.4%	16.8%	17.3%
4	イ：医学・歯学・薬学部等への大学進学に特化した学び	12.3%	+0.5%	11.8%	13.7%
4	セ：絵画や工芸、アニメや漫画、デザインなど美術に関する学び	12.3%	△0.5%	12.8%	15.0%

大学進学等に向けた普通教科、スポーツや情報技術などが回答率の上位となっているが、上位５項目以外では各専門分野に回答が分散している。個々の生徒の興味、関心や多様な進路志望に対応できるように各専門学科の学びについても、専門性の高度化など一層の充実を進める必要がある。

［7］　**あなたが高校にあったらよいと思う施設・設備を答えてください。（３つ以内で回答）**

※令和８年度から設定した質問項目

上位５項目		R8
1	イ：エアコン完備の体育館	50.0%
2	ア：エアコン完備の教室	47.8%
3	コ：充実した食堂	26.2%
4	サ：多目的スペース	23.9%
5	シ：種類が豊富な自動販売機	22.0%

エアコン整備に関しては、体育館、教室ともおよそ５割の回答率となっており、学校においてもエアコンを標準的な設備と捉えている生徒が多い。これ以外には、食堂や多目的スペース、送迎バス（19.0%）など、学校生活の快適性や利便性向上についての要望が多い。

7　「保護者」アンケート調査結果概要（中学校第３学年及び義務教育学校第９学年の生徒の保護者）

（1）調査対象者数及び回答率等

調査年度	生徒在籍者数※	回答数	回答率 (回答数／生徒在籍者数)
令和８年度	4,593	1,212	26.4%
令和７年度	4,421	1,017	23.0%
令和６年度	4,575	1,047	22.9%

※　在籍者数は、各年５月１日現在。（学校便覧より）

（2）集計結果（全県の割合）

［1］　現在の県立高等学校に設置されている学科やコースについて、あなたは、今、どのように感じていますか。５段階で評価して下さい。

ア：中学生の進路希望を反映した学科やコースが設置されている。

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R６
そう思う・ややそう思う	52.9%	△1.6%	54.5%	54.7%
どちらとも言えない	37.0%	＋1.8%	35.2%	34.3%
ややそう思わない・そう思わない	10.1%	△0.2%	10.3%	11.0%

肯定的回答が半数を超え、県立高校の学科・コース設定には一定の評価を得ているが、37%の保護者が「どちらとも言えない」との回答をしており、各高校での学びの内容とともに、育成すべき力や進路とのつながりなどの観点についてもより分かりやすく伝えていく必要がある。

イ：各高校の特色などが明確になっており、中学生や保護者にとって、わかりやすい。

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R６
そう思う・ややそう思う	50.1%	△0.9%	51.0%	49.7%
どちらとも言えない	35.2%	△0.5%	35.7%	35.0%
ややそう思わない・そう思わない	14.7%	＋1.4%	13.3%	15.3%

肯定的回答が約半数を占めるが、否定的回答も約１５％見られる。各高校で何が学べ、どのような進路やキャリアにつながるのか、といったその高校が目指す学校像をよりわかりやすく、明確に伝えられるよう工夫し、様々な機会やツールを活用して周知していく必要がある。

［2］　**あなたは、お子さんが進学先（高校、高専など）を選ぶ際に、どのようなことを大切にして欲しいと思いますか。（２つ以内で回答）**

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R６
1	イ：将来の夢や希望がかなえられるかどうか	52.7%	＋0.8%	51.9%	52.5%
2	ア：学びたいことを学べるかどうか	48.8%	△0.5%	49.3%	50.0%
3	ウ：大学等へ進学するための力がつくかどうか	23.4%	△0.1%	23.5%	25.1%
4	サ：自宅から通学の便がよいかどうか	14.2%	△1.5%	15.7%	13.7%
5	カ：入りたい部活動があるかどうか	13.9%	＋1.3%	12.6%	14.1%

約半数の保護者が、生徒の興味、関心に応じた学びができること、それが将来の目標につながることを最も重視している。個に対応した多様な学びの実現や、将来の職につながる専門学科の学びの充実など、各生徒の目標に応じた多様な進路形成に応える教育改革を推進していく。

［3］　**あなたのお子さんが進学先（高校、高専など）を卒業した後の進路について、保護者として、どのように考えていますか。（１つ回答）**

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R６
1	ア：大学（４年制）への進学	48.5%	＋1.3%	47.2%	50.4%
2	オ：わからない、考えていない	22.4%	△0.4%	22.8%	19.7%
3	ウ：専門学校、各種学校への進学	16.7%	＋0.7%	16.0%	15.6%
4	エ：就職	10.1%	△1.3%	11.4%	11.0%
5	イ：短期大学への進学	2.1%	△0.1%	2.2%	2.9%

約半数が４年制大学進学を想定している一方、２割超が進路に関して明確な考えを示してない。この中には生徒の希望を尊重するという考えもあると推測されるが、各高校での学びが卒業後の進路にどうつながるのか、保護者にも伝わるような情報発信の内容や手段も工夫していく必要がある。

［4］　**あなたは、お子さんにどのような学科で学ばせたいと思いますか。（２つ以内で回答）**

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R６
1	ア：普通学科 - 国語、英語、数学など普通教科を中心に学びます	56.4%	＋1.1%	55.3%	57.1%
2	サ：総合学科 - 普通教科や職業教科の中から、興味・関心や進路に応じて選択して学びます	21.5%	＋1.0%	20.5%	22.6%
3	シ：わからない、まだ決めていない	13.5%	△0.5%	14.0%	10.0%
4	ウ：工業学科 - ものづくりの知識や技術などを学びます（総合工学科を含みます）	11.1%	＋1.2%	9.9%	10.5%
5	キ：情報学科 - プログラムの作成やソフトウェア活用、情報技術などを学びます	9.9%	＋0.4%	9.5%	11.6%

普通学科以外では総合学科が２割超の回答率となっており、入学後の柔軟な進路選択が可能な点が評価されていると考えられる。また、工業学科、情報学科、商業学科（9.0%）など、専門学科のニーズも一定の回答率を継続しており、専門性の高度化など専門学科の学びの一層の充実が必要である。

［5］　**県立高等学校で新たにつくられたり、充実が一層図られたりするとしたら、どのような学びや分野等に必要性を感じますか。（３つ以内で回答）**

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R６
1	ア：大学進学等に向けた普通教科中心の学び	32.1%	＋1.6%	30.5%	32.0%
2	カ：AI やプログラミングなど、情報システムに関する学び	32.0%	△1.1%	33.1%	33.3%
3	エ：世界とつながるなど、外国語や英語分野に重点を置いた学び	30.9%	△3.1%	34.0%	37.2%
4	オ：会社を経営したり、事業を立ち上げたりする起業に関する学び	24.1%	＋1.4%	22.7%	20.4%
5	イ：医学・歯学・薬学部等への大学進学に特化した学び	14.3%	△0.7%	15.0%	14.8%

大学進学に向けた普通教科とともに、情報技術と外国語に関する学びの充実への期待が高い回答率を維持している。今後は、基盤となる普通教科と、データサイエンスや外国語を用いたプレゼン能力育成などを融合させた教科等横断型の学びの取組も拡充していく必要があると考える。

［6］　**あなたが高校にあったらよいと思う施設・設備を答えてください。（３つ以内で回答）**

※令和８年度から設定した質問項目

上位５項目		R8
1	ア：エアコン完備の教室	54.2%
2	イ：エアコン完備の体育館	49.1%
3	コ：充実した食堂	35.7%
4	ケ：送迎バス	30.0%
5	サ：多目的スペース	20.0%

生徒の回答と同様に、エアコンの設置の希望が上位２項目となり、保護者の多くも、学校においてエアコンが必要不可欠な標準的な設備と考えていると推察される。また、食堂や送迎バスといった学校の快適性や利便性向上に対するニーズが高いことも生徒の回答とよく似た結果となっている。

8　「教職員」アンケート調査結果概要（中学校及び義務教育学校の教員（主幹教諭、教諭、養護教諭、常勤講師、養護助教諭））

（1）調査対象者数及び回答率等

調査年度	対象者数※	回答数	回答率 （回答数／対象者数）
令和８年度	1,239	581	46.9%
令和７年度	1,264	510	40.3%
令和６年度	1,291	429	33.2%

※対象者数は、各年５月１日現在。（学校便覧より）

（2）集計結果（全県の割合）

［1］現在の県立高等学校について、あなたは、今、どのように感じていますか。５段階で評価して下さい。

ア：中学生の進路志望を反映した学科やコースが設置されている。

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R６
そう思う・ややそう思う	71.3%	△3.2%	74.5%	72.0%
どちらとも言えない	21.3%	＋2.3%	19.0%	21.2%
ややそう思わない・そう思わない	7.4%	0.9%	6.5%	6.8%

肯定的回答が約７割であり、教員の視点としては、生徒の希望に応じた学びの選択肢がおおむね設置されていると感じていると推察できる。一方で、同内容の保護者アンケート（質問項目１－ア）の回答とはかなりの乖離があり、生徒、保護者に向けての情報発信については課題も見られる。

イ：時代や社会の変化に対応した学科やコースが設置されている。

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R６
そう思う・ややそう思う	58.8%	△0.8%	59.6%	61.8%
どちらとも言えない	29.1%	＋0.1%	29.0%	29.1%
ややそう思わない・そう思わない	12.1%	＋0.7%	11.4%	9.1%

約６割が肯定的回答をしているが、急速な社会変化に対応できるような一層の高校教育の改革の必要性を感じている教員も一定数いると推察される。次世代を見越した高度専門人材の育成や、一層必要とされるデータ活用能力の育成など、新しい社会に対応した改革を具体的に進める必要がある。

ウ：各高校の特色などが明確になっており、中学生や保護者にとってわかりやすい。

※色付の枠・・・　■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R６
そう思う・ややそう思う	64.0%	＋2.6%	61.4%	60.1%
どちらとも言えない	25.1%	△3.1%	28.2%	30.1%
ややそう思わない・そう思わない	10.9%	＋0.5%	10.4%	9.8%

肯定的回答は増加しているが、同内容の保護者アンケート（質問項目１－イ）の結果とはやや開きがある。保護者の実感としては、各校の特色のわかりやすさについて、改善すべき点があると感じていると考えられ、発信する情報の内容、手段等について、さらなる工夫が必要である。

エ：各高校の学科、コースなどの学習内容等が教員にとってわかりやすい。

※色付の枠・・・ ■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R6
そう思う・ややそう思う	65.0%	＋0.7%	64.3%	62.2%
どちらとも言えない	27.4%	△0.8%	28.2%	27.5%
ややそう思わない・そう思わない	7.6%	＋0.1%	7.5%	10.3%

この２年間で高校での学習内容の理解に対する肯定的回答は増加している。今後も、スクール・ミッションやスクール・ポリシーを中心として、中学校の教職員に対して、各高校、各学科等での学びの特色を具体的にわかりやすく伝える工夫をさらに検討していく必要がある。

オ：高校からの情報提供が適切に行われており、進路指導に役立っている。

※色付の枠・・・ ■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R6
そう思う・ややそう思う	67.8%	＋1.6%	66.2%	61.8%
どちらとも言えない	25.1%	△0.2%	25.3%	28.9%
ややそう思わない・そう思わない	7.1%	△1.4%	8.5%	9.3%

質問項目１－エの回答と同様に、この２年間で肯定的な回答は増加している。体験入学、授業参観、Web ページでの発信など、様々な機会やツールを連動させながら活用することで、中学生の適切な進路選択につながるわかりやすい情報発信をより一層充実していく必要がある。

カ：高校の体験入学や授業参観などが、中学生にとって、進路を考える上で役立っている。

※色付の枠・・・ ■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R6
そう思う・ややそう思う	88.6%	＋4.0%	84.6%	84.3%
どちらとも言えない	9.3%	△3.1%	12.4%	12.6%
ややそう思わない・そう思わない	2.1%	△0.9%	3.0%	3.1%

肯定的回答が約９割で、この２年間でも増加している。進路選択において、実際に高校を訪問して生徒の様子や学校の雰囲気などに直接触れる機会が有効であることが分かる。各高校における体験入学や、各校が集まって開催している「でかける体験入学」など、取組の充実をさらに進めていく。

キ：多様な学校や学科、コースが設置される中で、目的意識を持って受検する生徒が増えている。

※色付の枠・・・ ■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R6
そう思う・ややそう思う	44.6%	△2.0%	46.6%	43.8%
どちらとも言えない	36.7%	△0.9%	37.6%	42.4%
ややそう思わない・そう思わない	18.7%	＋2.9%	15.8%	13.8%

肯定的回答は５割を下回り、課題が見える。生徒アンケートでも、質問項目１で高校入学の目的として進路実現を挙げる生徒が多い一方、質問項目３では高校卒業後の進路について明確でないとする回答も多く見られ、中学生の目線に立った高校の魅力、情報発信の更なる工夫が必要である。

ク：多様な学校や学科、コースが設置される中で、中学校での進路指導は生徒一人一人の個性に対応して行っている。

※色付の枠・・・ ■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R6
そう思う・ややそう思う	71.5%	△0.5%	72.0%	67.8%
どちらとも言えない	23.1%	＋0.4%	22.7%	28.7%
ややそう思わない・そう思わない	5.4%	＋0.1%	5.3%	3.5%

７割超の教員が肯定的回答をしており、中学校現場で個に応じた丁寧な進路指導が実践されていることがうかがえる。県立高校としても、生徒の多様な進路希望や、様々な学習ニーズに対応できるように、学科やコースの検討、学習の支援体制の構築をより一層進めていく必要がある。

ケ：普通学科以外の学科・コースでも大学等への進学対応が進む中、中学校教員の進路指導に対する意識も変わってきている。

※色付の枠・・・ ■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

	R8	前回比	R7	R6
そう思う・ややそう思う	65.4%	＋1.3%	64.1%	62.5%
どちらとも言えない	28.1%	△1.1%	29.2%	30.8%
ややそう思わない・そう思わない	6.5%	△0.2%	6.7%	6.7%

この２年で肯定的回答は少しずつ上昇しており、中学校の教員にも、「普通学科＝進学」、「専門学科＝就職」という従来の固定した考えから離れ、さまざまなルートから多様な進路選択を行ことができることを意識した進路指導が浸透してきていることが推察できる。

［2］あなたは、中学生が進学する高校を選ぶ際に、どのようなことを重視して指導しますか。（２つ以内で回答）

※色付の枠・・・ ■：3.0ポイント以上増、■：1.5ポイント以上増、■：1.5ポイント以上減、■：3.0ポイント以上減

上位５項目		R8	前回比	R7	R6
1	イ：生徒の将来の夢や希望がかなえられるかどうか	70.9%	△0.5%	71.4%	73.0%
2	ア：生徒が学びたいことを学べるかどうか	69.9%	△0.3%	70.2%	65.5%
3	ク：高校入試で合格できそうな学校かどうか	16.7%	＋1.4%	15.3%	19.1%
4	エ：将来就職する上で、必要な資格などが取得できるかどうか	13.1%	△1.2%	14.3%	12.6%
5	ケ：校風が生徒に合うかどうか	8.6%	△0.2%	8.8%	6.3%

上位２項目は同内容の生徒アンケート（質問項目１）とも一致しており、生徒の視点に立ち、個々の進路実現を目指した進路指導が行われていることがうかがえる。各県立高校においても、学びの内容とその先の進路とのつながりをわかりやすく示すなど、適切な進路選択につながるような情報の提示を工夫していく必要がある。

［3］**県立高等学校で新たにつくられたり、充実が一層図られたりするとしたら、どのような学びや分野等に必要性を感じますか。（3つ以内で回答）**

※色付の枠・・・ ■：3.0ポイント以上増、 ■：1.5ポイント以上増、 ■：1.5ポイント以上減、 ■：3.0ポイント以上減

上位5項目		R8	前回比	R7	R6
1	カ：AIやプログラミングなど、情報システムに関する学び	41.3%	＋2.5%	38.8%	42.9%
2	ア：大学進学等に向けた普通教科中心の学び	31.3%	＋6.8%	24.5%	28.4%
3	エ：世界とつながるなど、外国語や英語分野に重点を置いた学び	23.9%	△3.7%	27.6%	28.0%
4	オ：会社を経営したり、事業を立ち上げたりする起業に関する学び	23.4%	△0.3%	23.7%	19.1%
5	テ：保育や介護、ボランティアなど、福祉分野の学び	16.4%	△0.7%	17.1%	15.4%

情報技術に関わる教育の充実に対する回答率が高く、AI活用やDX化が急速に進む社会背景を反映していると考えられる。専門性に特化した分野の回答は選択肢が多く分散傾向であるが、この先の社会を支える高度専門人材の育成が大きな課題となる中、高校教育における専門教科の学びの必要性についてもさまざまな機会をとらえて伝えていく必要がある。